

令和6年度高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業
フォローアップ研修会 実施報告（HP版）

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備に関わる生活支援コーディネーター（以下、SC）や市町村職員を対象に、事業や活動の評価・診断手法を学び、課題解決のアイデア出しや、事業のブラッシュアップにつなげる研修を行いました！

前半は、『事業（活動）と運営主体の持続性を高めるために～PDCAを標準化しよう～』と題したミニ講義を行いました。PDCAがなぜ必要なのか、Plan・Do・Check・Actionそれぞれの段階におけるポイント、事業や活動の持続性を高めるために必要な評価と改善に向けた視点等を学びました。後半は、グループで各担当事業の情報交換から1事業を選択。選択した事業について、人・モノ・カネ・情報手法の4点に着目し、理想的な姿や状況から事業診断の評価指標を作っていく作業などを進めました！最後の振り返りでは、研修を受けての気づきや課題、今後チャレンジしたいことも共有。日頃の悩みや課題を語り合い、励まし合う等、参加者同士の交流や親睦も深められ、有意義な研修となりました！



日時：11月21日（木）13時半～16時半

会場：遊学館（山形市内）

参加：8名

講師：高橋由和氏（(特非) きらりよしじまネットワーク事務局長）

***** 参加者VOICE *****

- ・事業評価の重要さに改めて気づきました。
- ・明確な目的をもって計画を立てる、ということを再理解しました。
- ・PDCAサイクルを実際にかみ砕いて実践することで、具体的なイメージができたと感じました。他の事業などで取り入れて実践できればと思います。
- ・PDCAを改めて進めていくこと、事業の振り返りとして細かく評価項目を選定していくこと、とても参考になりました
- ・同じSC同士で、悩みなどを共有できたことがとても励みになりました。
- ・SC同士が気軽に話せる場が普段はないので、今回SC同士で普段の活動などを話すことができ、とても良かったです。普段から悩んだ時などに話せる関係性が出来ればいいなと思いました。

※この事業は県の委託を受け実施しました。